

雨水溝の整備について

○7番（小暮博志） それでは、次に1件に関しまして一般質問をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

内容は雨水溝の整備についてであります。これから入梅の時期となり、雨の多い日が増してまいります。雨の多い日に側溝から水があふれ出し、同時に運び込まれたビニール等のいろいろなごみが田に流れ込んだことや米の生産調整が重なりまして、現在約70アール……坪数では約2,000坪ですけれども……の田が耕作放棄地となっております。今後、正常な農地に戻したいと思っておりますので、ぜひ雨水溝の整備をしてほしいという案件であります。場所は国道50号線の南側で、佐野古河線と交差する高萩陸橋から130メートルほど西のところにあります。住所は佐野市馬門町で、東両毛通運株式会社の西側に当たります。

米の耕作放棄は10年ほど前から生じております。国道50号線北側に位置する茂呂山町の側溝からの汚水排水及び雨水などの下水が国道50号線を貫通して田の近くに流れてまいります。それから、国道50号線の側溝からの雨水も流れてきます。耕作放棄地となった理由の一つには、側溝から流れ込む水に肥料分が多く、特別に肥料を散布しなくても肥料分が多く入り過ぎ、稲が成長し過ぎて倒れてしまい、田が耕作する状態にならなかったということでもあります。また、下水が多く流れ込み、はだしで田んぼに入るといって皮膚にかぶれができるなどのことも発生しているということでもあります。以上のようなことと生産調整による田の休耕が重なりまして耕作放棄地になってしまったということでもあります。

国道50号線より南を見ますというと、約70アールの土地が耕作放棄地となっていることが確認できます。ちょっと写真ですけれども、このような状態。草がいっぱい生えていまして、これはことしの3月撮ったものです。それから、耕作放棄地には、茂呂山町の側溝から水が国道50号線を通って運んできたごみがたまってあります。缶、ペットボトル、発泡トレイ、ビニール等のごみが運ばれてきてあります。それをちょっと見てみますというと、側溝から出たところなのですけれども、これはごみががさっとう来ているのです。これが流れた先にも、まだこれだけではなくて、その先にもこんな感じでまだつなが

ってごみが側溝にたまっているのです。

先ほどのごみは茂呂山町のほうから流れてきたやつなのですけれども、国道 50 号線の側溝からごみがまた流れてきているのです。これがそうなのですけれども。これは 50 号の側溝なのですけれども、側溝の下から来ていまして、ここを見ると、これは油みたいごみがたまっているのです。こんな感じで、また 50 号の側溝からもいっぱい流れてきています。

2つの側溝から後の雨水が流れるところが十分整備されていないために排水が悪く、このような状態の耕作放棄地をつくる一つの原因になっているというふうに思っております。たまっている水の近くに行きますというと、汚水によりまして悪臭も発しているということでもあります。それから、環境面から見ましても非常によくない状態になっているということでもあります。

今、国策としまして、自給率向上のために新しい農政として戸別所得補償モデル対策を進めております。その中で不耕作地に対しましては作付の改善計画を提出することになっております。農家の方は、今の耕作放棄地を改善して収入の拡大を図っていきたいとのことであります。そのためには現在のような一年じゅう水がたまっている状態では作物をつくるのが難しく、排水のよい状態にする必要があります。今、世界では約 65 億人以上の人口になっておりますけれども、少なくとも 7 億人が食料不足に苦しみ、ユニセフのデータでも 5 歳未満の子供が毎年約 600 万人以上が栄養不足や飢えで亡くなっております。日本の食料自給率は、皆さんご存じのようにカロリーベースで平成 20 年度で 41%です。私は、食料に関しましてはカロリーベースでは 100%にする必要があるというふうに考えております。

現在、国道 50 号線から下流の、先ほどの下流の約 280 メートルのところまでは幅 600 ミリ、深さ 600 ミリの U 字溝が設置してありますので、この残りの部分を整備してほしいということでもあります。その下流のほうなのですけれども、下流のほうは一応側溝ができています。このように一応完成しているのです。ですから、この U 字溝を設置することによりまして、上流から下水が多く流れることがあっても側溝の完成によりまして田の排水もよくなって作物の栽培も可能にな

ると考えているところであります。それから、田に大量のごみが堆積していると思われまますので、側溝の整備等のときにおきましては、この処分といろいろのご指導、ご協力をお願いしたいというふうな住民の方の意見もありました。以上のような状態に対しまして、U字溝設置の要望に対しまして見解をお聞きしたいと思っております。よろしく願いいたします。

○議長（岩崎俊道） 当局の答弁を求めます。
都市建設部長。

○都市建設部長（出井孝志） 小暮博志議員の一般質問にお答えします。

まず、U字溝を設置してほしいとの要望でございますが、この水路を市が整備する場合には、上流の流域から流れてくる水量も考慮した安全な水路として整備したいと考えております。しかしながら、一部側溝はありますが、その流末が整備途中であるという現時点におきましては、上流を考慮した本格的な整備は難しい状態であります。したがって現在のところ、ご質問いただきましたU字溝での整備は難しいと考えております。ですが、よく現状を調査させていただきまして、当面できる耕作地の排水方法につきまして検討し、地元の皆様とご相談させていただきたいと考えております。

次に、ごみの処分時にはご指導をとということでございますが、皆様に周知しているところであり、市では一般的な水路の清掃に関しては地元の方をお願いしているところでございます。しかしながら、清掃によって出たごみやヘドロは産業廃棄物に該当するものがあり、一般の方には処分が難しいものと思われまますので、このごみやヘドロの運搬、処分につきましては市で実施しておるところでございます。この水路のごみにつきましても、地権者の皆様と協働して片づけていきたいと考えております。

また、流入するごみに対しては、上流部にスクリーンなどを設置し、ごみが水路に流入しないように管理していきたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（岩崎俊道） 以上で当局の答弁は終わりました。
7番、小暮博志議員。

○7番（小暮博志） すばらしい答弁ありがとうございました。

やはり私が思うのは、この水路ですけれども、茂呂山町のほうの雨水の量と、その下流のほうの側溝とのアンマッチングがあるのだと思うのです。ですから茂呂山町のほうの雨水の量と、それから茂呂山町の東側に高萩陸橋というのがあるわけですけれども、そのこのところの側溝、台風等におきましては側溝に雨水があふれて、去年だったのですが、車が3台ぐらい立ち往生したということがありました。それがありまして、茂呂山町のほうの側溝に関しましては、どこに流すかというのをよくもう一度検討していただきまして、こちらのさっき言った田んぼのほうに流れる水に関しましては、上流の水が全部こちらに来るというようなことがなくて、その下の側溝に合った水量が流れるような状態になるように考えて整備をしていただきたいというふうに思います。

予算等もありまして整備は難しいということもあるかもしれませんがけれども、流れてくる水が今の状態だということと側溝の付近もごみで非常に、側溝だけというのではなくて田んぼ一面がごみで埋まってしまっているというような感じになっていますので、その側溝、掃除といっても地元の方でもやり切れないぐらいの量があると思っておりまして、側溝の整備のときには、きれいにするのに市のほうもよろしくご協力願ひまして、ぜひきれいにしたいと思いますので、そこら辺のところをよく考えていただきたいということで、マッチングも考えて、本当はいつごろまでにやっていたかということをお聞きしたいのですけれども、そこら辺のところも考えまして、全体の排水のことを考えてどのくらいで完成を考えているのかということもちょっとお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（岩崎俊道） 当局の答弁を求めます。
都市建設部長。

○都市建設部長（出井孝志） 再質問にお答えいたします。

現地につきましては、流末等の状況、それから今おっしゃられたとおり周辺の道路状況、そういうものを総合的に勘案して排水計画を今

後検討していきたいというふうに考えております。

以上、答弁とさせていただきます。